

専門・認定看護師からの ニュース&トピック22号

専門・認定看護師の活動にご協力、ご支援、ありがとうございます。



皮膚・排泄ケア特定認定看護師 清田
感染管理特定認定看護師 生地
感染管理認定看護師 横山

第22号 2024年8月発行

1

◆皮膚・排泄ケア認定看護師の活動

◆対策 UP TO DATE! COVID-19流行後 CDCガイド ラインの改訂が開始!!

◆感染対策に新たな一手!!

アフターコロナ時代の感染対策を支えるツール

下水疫学調査

◆専門・認定看護師会からのお知らせ



皮膚・排泄ケア特定認定看護師 として4月から活動しています

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 清田
2024年8月発行 第22号

2

● WOCNをぜひ活用してください

皮膚・排泄ケア認定看護分野を修了し、4月より活動しております **清田**です。
皮膚・排泄ケア認定看護師の事を**WOCN (ウォックナース)**といい、患者様やスタッフが予防・改善ができるように活動しております。

W (Wound) = 創傷

皮膚のトラブルや創傷の発生予防のため、皮膚を健全に保つスキンケアを行います。また創傷が治りやすくするための環境を整えるケアを行います。

EX) スキンケア方法 褥瘡対策 NPWT 創傷管理に関連することなど

O (Ostomy) = ストーマ

ストーマ造設前から情報提供やストーマ造設後の患者・家族スタッフへのケア方法の指導や装具の選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポートなどを行っています。病棟でのカンファレンスや週に2回外来を行っています。

EX) ストーマケア同行 OP前オリエンテーション など

C (in Continence) = 失禁

手術や加齢による尿・便失禁への対策や失禁による皮膚のトラブルへの対策や改善のためのケアを行います。

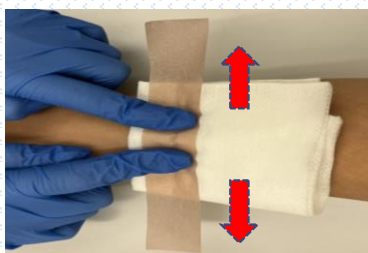
EX) 失禁対策 オムツの当て方 排尿自立支援 (CIC) など

褥瘡管理者として組織横断的に活動をしておりますが、

何か上記の事に関してお困りのことがあれば、ご相談ください。

● テープを正しく貼って皮膚トラブルの予防を！

中央から皮膚に向かって皮膚に沿わせるように貼ることで損傷を予防できます



テープを貼りながらカットすると皮膚に負担がかかるため**NG!**
あらかじめカットしたテープ
を貼付しましょう

感染対策 UP TO DATE!

COVID-19流行後 CDCガイドラインの改訂が開始！！

感染管理特定認定看護師 生地
2024年8月発行 第22号

3

CDCガイドライン隔離予防策ガイドライン改訂の 草案について（草案：下書き 草稿 原案のこと）

今までは

接触

飛沫

空気

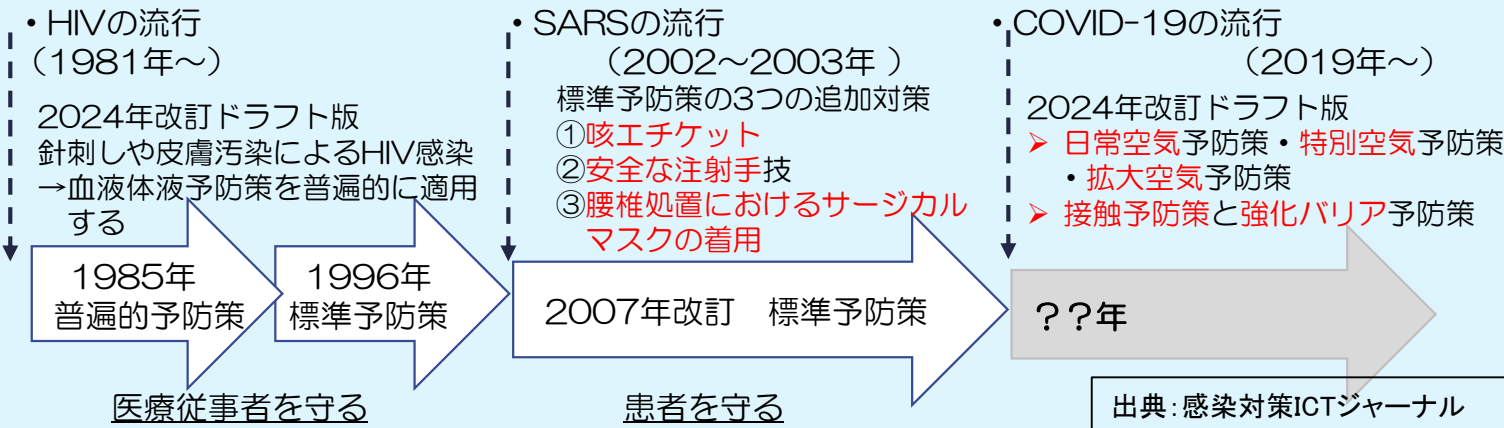
草案

接触を介する
伝播

空気を介する
伝播

COVID-19のパンデミック（世界的な大流行）の教訓により、隔離予防策が見直される方向です。医療は常に進歩し続けていますが、感染対策も同様に進歩しています。正しい知識を身につけ、正しい感染対策予防行動を取り、患者と自分自身両者を守ることができる医療従事者であってほしいと願っています。ガイドラインが改訂された際には再度お知らせしますが、**感染症の歴史によって感染対策が改訂されてきた流れ**についてお伝えしたいと思います。

隔離予防策の歴史



出典: 感染対策ICTジャーナル
Vol.19 No.3 2024 summer

第39回環境感染学会総会・学術集会in京都
2024.7.25～7.27開催
「中心静脈カテーテルの早期抜去への取り組みと
感染管理特定認定看護師の今後の課題」
演題発表してきました
参加者6000名以上の参加で災害による感染対策、
COVID-19など大変興味深いプログラムでした。

今年も開催します！
第16回北摂地域感染管理
ネットワーク研修会
【みんなで取り組む感染対策】
開催日 2024.11.30 (土)
場所CIVI研修センター新大阪東 6階
後日詳細をお知らせします！
ぜひ、ご参加下さい！！

感染対策に新たなる一手!!

アフターコロナ時代の感染対策を支えるツール

— 下水疫学調査を紹介します —

感染管理認定看護師 横山
2024年8月発行 第22号

4

◆ 下水疫学調査とは

下水疫学調査は感染症を引き起こす微生物が糞便中からも検出される特徴を活かし下水中に含まれる微生物の遺伝子を測定することで、地域にどのくらい感染症が蔓延しているかをバイアスなく把握することができます。アメリカでは既に約1,100カ所の下水処理場で下水疫学調査を実施されており、COVID-19の他、季節性インフルエンザウイルス、Mpox（サル痘）ウイルスの調査結果が公開されています。他にも航空機や空港での調査も進められており、世界的なパンデミックへの監視体制が整えられてきています。



◆ 下水疫学調査の特徴

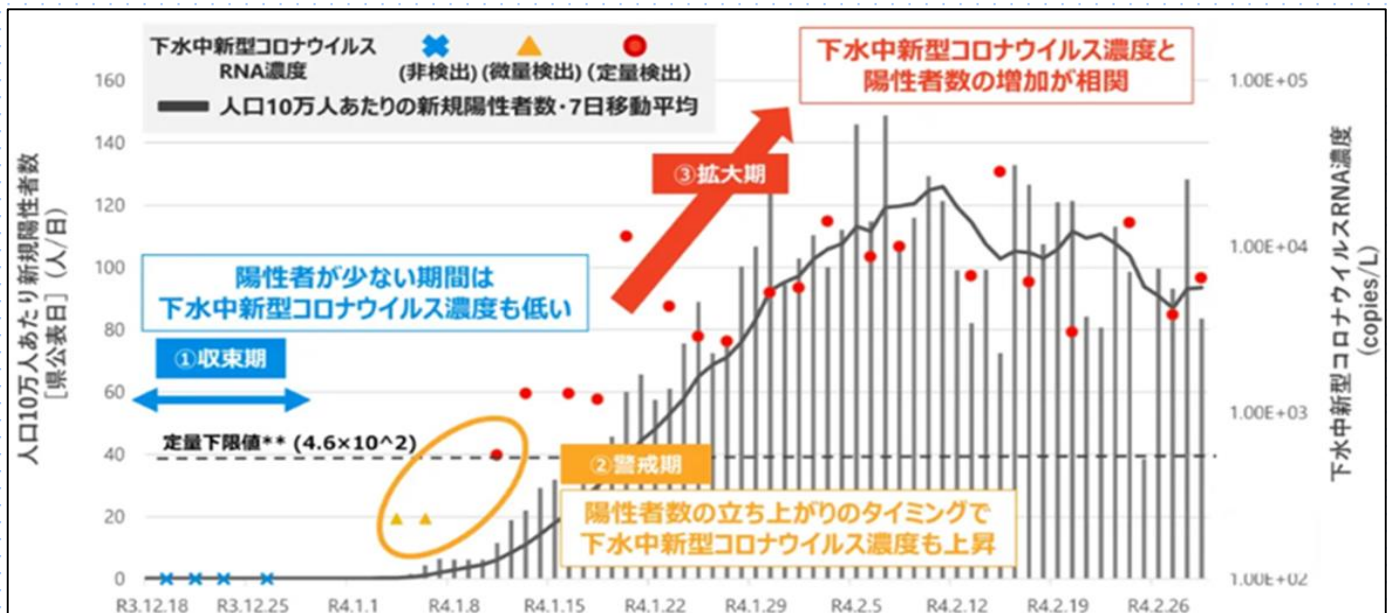
① 流行状況の効率的な把握

・臨床検査は感染初期/急増期にキャパシティ不足により、感染実態（感染規模やピークアウト時期など）の把握が困難となるが、下水疫学調査は常時地域全体のモニタリングが可能。

② 変異株の早期検知が可能

◆ 我が国の下水疫学調査と感染対策への活用について

日本でも、埼玉県荒川水循環センター（幹線）における定量解析で、下水中の新型コロナウイルス濃度と陽性者数の増加が相関しており、流行状況のトレンドを早期にモニタリング可能であるというデータが得られています。このように下水疫学データをモニタリングすることで、早期に流行警戒期を確認し、臨床検査のリソースや病床の確保、院内感染対策の検討が行える。また早期に流行拡大期を確認できることにより、重症者の発生に備えた医療体制を構築することができるなど、感染対策への活用に期待が持てると思います。



図、埼玉県荒川水循環センター（幹線）における定量解析の事例

専門・認定看護師会からの お知らせ

5

私たち専門看護師、認定看護師の役割のひとつに、相談（コンサルテーション）があります。日々の看護業務で、患者様の看護・ケアに関する事でお困りの事がありましたら、ぜひ私たち専門看護師、認定看護師に気軽にご相談ください。

～コンサルテーションとは～

困ったことや課題を抱えたコンサルティ（相談者）が問題解決のためにその課題の専門家であるコンサルタントに相談することです。

【専門・認定看護師一覧】

- 老人看護：稲野聖子
- がん看護：吉野葵
- クリティカルケア領域：難波さおり(救急看護)、越智貴子(救急看護)
高橋典子(集中ケア)、衣笠愛子(集中ケア)
- 緩和ケア：小林身和子
- がん性疼痛：音地真理
- がん化学療法：東かおり
- 皮膚・排泄ケア：清田瑶子、小原順子
- 手術看護：脇本英昭
- 感染管理：横山朋之、林紫、生地あゆみ

